

(雜 錄) ○人虱雜記(三)

は更に「ミラシチウム」をも研究した。其結果を摘録すれば、體の前部には消化管の原基の側に「セルカリア」で見た者に類似した「Cephalic gland」がある。排泄器は左右全く獨立で、各側の者が體の後端に近き處に一個宛ある排泄口によつて外に開く。

(ibid, No. 18.)

(駒井卓)

雜 錄

●人虱雜記(三)

戦争と蝨のパンデミーとは密接の關係のあることは推知し得べく又事實歴史の證するところである。歐洲戦争が有史以來の最大戰役であるならば等しく蝨軍の現出も未曾有の事であろう、そして人類同士が智力の限り盡して闘つてゐる間に、蝨に對しても同様の努力が拂はれたのである。今其有様を簡単に近着の雜誌から摘載して見よう。

蝨防除の策としては云ふまでもなく各方面から、又あらゆる方法が講ぜられた、然し最も敏速に有効にそして大規模に實行の可能が證明されたのは焼殺法と蒸殺法とであつた様に思はれる、從て夫れに對して各種の裝置が案出され且實施されたのである。

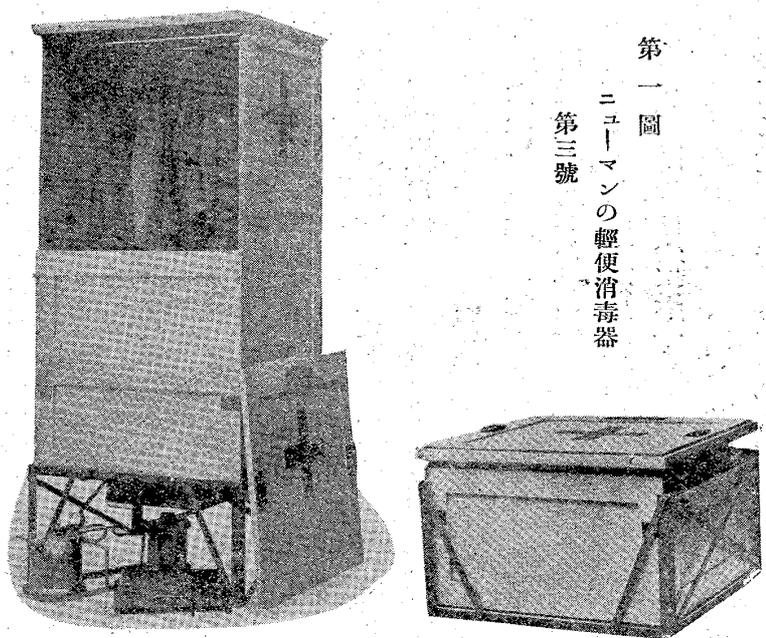
蒸汽消毒樽 (Barrel steam disinfecter)

戰地で廣く行はれた者セルビアで初めて利用されたので「セルビア樽」の名が軍隊の通用語となつて居る。樽の兩底も打抜いて蓋と木製の格子とを作りつけた者である。六十ガロン入りの者なれば兵士六人の器具入と七枚

の毛布とを一時に消毒することが出來ると云ふ。これを裝置するには淺い圓形の樽底に相當する湯沸しが丁度埋まり、且其下で火を焚く餘地を存する深さの溝を堀る。湯沸は二本の鐵棒を溝に架して支へ、上には樽を重ね、

第一圖

ニューマンの輕便消毒器 第三號



者は可成多い。樽を一列に並べ共通の火力を利用した者である。或は樽と湯沸を全く離して、後者からの蒸氣を導管で前者の上側より流入せしめ、又其樽の下側に龍頭を取りつけて凝結した水を流出させる。此裝置であると

合せ目(丁度地平の高さに在るか)には粘土を盛つて蒸汽の逸散を防ぐ、而して溝の他端に煙突を立てる。斯くして間に合せの消毒器が出來るのである。樽を利用した考案

壓力の關係からよく蒸氣を樽中に導く事が出来る譯である。

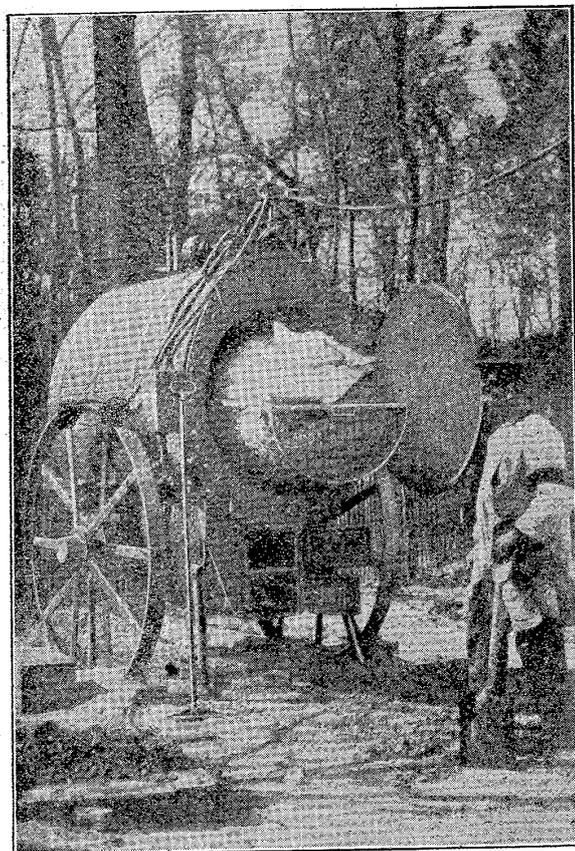
蒸氣消毒箱 (Box steam disinfecter)

RISCHBIETTERの改良消毒器ともいふべきものは獨軍東部戦線に用られて有効であつたといふ。此れは蒸氣罐と

消毒室から成つてゐる。前者は爐と煙突及二個の湯釜を備へ、發生した蒸氣は管によつて後者に導かれるが其途中煙突の下部を通るので更に加熱される。室の大きさは $1.8 \times 1.5 \times 0.7$ 米で、木製の二重壁で出来、其間に藁が充めてある。蒸氣が此室の上部の管から放出されるときの温度は八十乃至九十度(攝氏以下同じ)である。六人分の服、毛布及寢床が一時に處理され、其暴露時間は五十分であると。

以上の者は極めて小形の者で到底多人数の需用に應ずる事を得ぬ、そこで大規模の種々なる消毒室が考案せられ又實用された。其二三を述べよう、GRANT大尉が甚だ効果があつたと記載している消毒小屋は其一例

第二圖 Horse-drawn steam sterilizer.



で、間口八呎十吋、奥行十八呎三吋、天井の高さ七呎、壁はトタン生子板の二重張り内に蒸氣罐を据ゑてある。二百枚の毛布が容れられるので一日には千二百枚を處理し得られる。此小屋に作業する者は下士一人、兵六人と機關士一人となくてはならぬ。更に一步をすすめたのは

斯かる小屋を一對建造し、其中間に蒸氣罐を置いて各室に連絡せしめ、一方で蒸殺している間に他方に搬入するのである。是れも同氏の報告にある、佛國で可成りに建てられたといふ。

殊に氣が利いて居るのは荷物列車を蒸殺室に改造した事で、運搬の自由と内容の大なる等で大いに推賞された。LILJEANは十八呎の長さの貨車四輛で、二日間に一旅團の兵士の携帶品を

消毒する事を得るといひ、又 BUCHANAN は埃及での經驗で其卓越を説いた。尙 BUDENBERG は一萬人の捕虜を取扱つた時、小規模の者では到底蝨退治が間に合はぬといふのでバラツク其者を蒸殺室に用ゐて、同時に千三百着の正服を收め初めて蝨から免れたと述べている。前記の者

は何れにしても急造或は改造物であるが、消毒用の目的の爲めに作られた物が實に多數にある。

第一圖に示すものは *NEWMAN* の輕便消毒器第三號で、二呎七吋四方高さ五呎三吋の木箱内面には亞鉛板を張り鐵製の臺に載せてある。臺の下には空氣ランプが置かれてある(燃料は石油)蒸氣と熱氣とを任意に箱内に流入し得る様な装置になつてゐるので、最初の三十分間で蝨の蒸殺が済めば、後の三十分は熱氣を送つて濡物を乾かす事が出来る。更に第一圖右圖の様に疊込むで運搬されるので甚だ便利である。

次に第二圖は *Horse-drawn steam sterilizer* の一型で、英米軍隊に盛んに供給された者である。此種の消毒馬車は多種多様の式がある。此れでは消毒室は水平で圓筒形、壁の中には或種の鹽類の溶液が入れてある。華氏百十五度になると蒸氣は之れから發生して室内に入りこむのである。斯くて約卅分で消毒が終ると、戸の下にある瓣を開く、外氣はこゝから侵入して、回旋した管を経て室の床から其内に出る様になつてゐる、管が熱した溶液中を通じてゐるので空氣が室内に出る際には既に熱氣となつてゐる、依つて蒸氣に濕つた品も之れで乾かせられるのである。

Thresh disinfecter mounted on Fode Steam Lorry は二個の消毒室を蒸汽車に積せたのである、之れの便利な點は速度の速い事と、任意の場所に着くと直に蒸氣を室

内に噴出し得る事とである、それは車を馳行させる機關から蒸氣を發生させる様に設計されてゐるからである。以上蒸殺装置の大體を記したから次は熱殺法について述べる事とする。
(木下周太)

●「兩頭」の蝶

兩頭の蝶と云つても珍らしい畸形でも何でも無い。*Thecla* 屬等のシジミテフの類の事である。昆蟲採集家の誰でも知つて居る事であるが、シジミテフの類には後翅の後角の處によく尾の様な突起が附いて居る。突起は一本二本稀に三本もある事があるが、其基部にはよく著しい斑紋があつて、其斑紋の中央に大きな點等がある。それから翅の下面には屢々前後翅を通じて條の様な模様がある。ウラナミシジミとかトラフシジミ等は其例であるが此條がよく此後角の斑紋に集中する様な方向を取つて居る。之に反して翅の上面は適目立たない様な色である。それからかう云ふ蝶が止まると、よく後翅を忙がしそうに上げたり下げたりする。

數年前吾國に來た事のあるモルテンセン氏は吾が國を去つて後、パナマ地方に於て動物の習性を觀察して居る中に、右に述べた様なシジミテフの特性に氣附いた。そして後翅の後角の部分が如何にも蝶の頭らしく見える事に注意した。即ち此部分にある斑紋は動物の頭、其中の點は眼、突起は觸角や、下唇鬚の擬ひであつて、翅下面